

将星真田幸村花火大会補助金をめぐり

一般会計補正予算 賛否分かれる

賛成多数(反対2)で原案通り可決

6月議会

一般会計補正予算等 16件を議決

2018(平成30)年第2回九度山町議会定例会(6月議会)は、専決の承認(町条例一部改正、2017年度補正予算案)6件、2018年度補正予算案(一般会計、国保、介護、水道、下水道)5件、町条例制定・改定3件の14件の議案と、議員提出議案(意見書)2件の審議・採決を行い、6月22日に閉会しました。

花火大会を従来規模で実施する予算を含む
一般会計補正予算に反対 伊丹俊也議員

政策的経費・新規事業 花火大会予算に賛否
を当初予算に追加

6月議会に提案された一般会計補正予算案は、義務的経費中心の「骨格予算」である当初予算に、町長の意向を反映させた政策的経費や新規事業予算を追加計上した予算です。当初予算に1984万円を増額し、一般会計予算総額は前年度同期比で9・0%増の34億9547万円となります。

住民要求反映の事業は
評価

一般会計補正予算には、町道拡幅や九度山中学校教室へのエアコン設置など、町民のくらしと福祉の向上に役立つ事業などが盛り込まれていることは評価できます。

その一方で、今年で4回目となる「将星真田幸村花火大会」を従来規模で実施するための補助金1300万円については、町民の間で賛否が分かれています。

安倍政権の社会保障切り捨ての政治で受け取る年金が減らされる一方、後期高齢者医療保険料や介護保険料の値上げで、年金生活者は厳しい生活を強いられています。花火大会の規模を縮小し、他事業への予算振り替えを求める声が、伊丹議員に寄せられています。

理由を示して反対

伊丹議員

町民負担増となる介護保険料値上げを行った年度に花火大会を従来規模で実施することに、町民、特に低



採決の結果は……

6月22日の本会議で一般会計補正予算の採決が行われました。採決の前に賛否の意見を述べる討論が行われ、2名が反対の立場で、4名が賛成で討論を行いました。採決の結果、賛成7・反対2の賛成多数で補正予算は可決成立しました。

伊丹議員の反対討論
(理由)を裏面に掲載

伊丹議員の一般質問

障害者と高齢者に対する
外出支援策について

伊丹

障害者外出支援策として、タクシー券配布、燃料費補助を行うことを提案します。

町長

鉄道・バス等の公共交通機関で障害者手帳提示による割引サービスや、町長の証明による有料道路通行料割引など一般的な支援策の他、障害がある方が利用登録をすることで利用できる福祉有償運送の周知・広報を進めてまいりたいと思います。(それらの)取り組みを十分に進めた上で検討してまいりたいと思います。

伊丹

高齢者の外出支援策として、燃料費補助(ガソリン券)を新たに設け、タクシーチケットとガソリン券の選択制とすることを提案します。

町長

燃料費補助は、シルバータクシーチケット助成制度の目的、交通弱者の利便性向上を図り、高齢者

の社会参加と生きがい活動を促進の趣旨と異なると考えます。

「デジタル教科書」について

伊丹 「デジタル教科書」が本町小・中学校で使用されることになった場合、義務教育無償の考えに立って、児童・生徒家庭に負担がないようしていただきたい。

教育長

デジタル教科書導入について、国や県がどのような形で費用面での補助があるかなど、今のところ情報がありません。教育委員会としては保護者負担のないようにとの願いはありますが、そのあたりについては全く現時点ではわかっていません。

※その他、町営住宅政策について質問しました。



町議会議員 伊丹俊也



ブログ開設中

「Good Morning, 九度山」

<http://licitami.at.webry.info/>

九度山民報

No.57 2018年7月25日発行

編集・発行 日本共産党九度山町支部

《連絡先》伊丹俊也

〒648-0101 九度山町九度山747-32

TEL&FAX 0736-26-7382

e-mail itami_t@mth.biglobe.ne.jp

一般会計補正予算の反対討論 伊丹俊也議員

議案第29号平成30年度九度山町一般会計補正予算(第1号)に反対の立場から討論を行います。

この一般会計補正予算は、4月の町長選後の政策的経費や新規事業など、再選を果たされた町長の意向を反映させたいいわゆる「肉付け予算」です。

評価する事業

まず、評価する事業を申し上げた上で、問題点を指摘したいと思います。

3款民生費の「見守り電話サービス」は、高齢者が孤独な状態にならないよう、また、健康状態の把握により早期の病院への通院につなげ、健康で永く暮らせるよう文字通り見守るもので、高齢者が安心して本町に住み続けられることに役立つものと考えます。

5款農林業費の太利池のフェンス増設と外島農道の補修、ならびに7款土木費の「トンネル点検業務」は、住民の安全の確保に役立つものです。

同じく7款の町道84号他の道路拡幅事業は、町民から要望が大きい狭隘道路の改善と歩行者の安全通行に役立つものです。

9款教育費では、九度山中学校の教室にエアコンが増設されることは、生徒の学習環境を向上させるものです。

このようにこの6月補正に、町民のくらしと福祉の向上に役立つ事業が盛り込まれていることを評価するものです。

花火大会について私はこう思う

さて、私がこの補正予算案で問題視するのは、9款教育費の「将星真田幸村花火大会補助金」です。最初に、私は、この花火大会の予算のすべてを否定するものではないことを申し上げておきます。

花火大会の事業は、娯楽的要素だけでなく、様々な要素を持ったものであると思います。

昨年の花火大会には推定で5万人の方が来町されました。多くの方がお越しになられたことにより、道の駅「柿の郷くどやま」の商業施設やベーカーリーの売り上げが伸びたことや、会場周辺に出店したブースの中には数時間の間に数十万円の売り上げを上げるなど、いわゆる経済効果が上がっています。このように多くの方がいらっしゃることは、お店やブース出店者が潤うだけでなく、交通機関の利用者も増え、町内産業の発展と活性化に繋がると私は認識しています。また九度山の知名度も上がることになり、より多くの観光客の方々が九度山町に訪れてくれる機会を増やすことにもなります。

また、経済効果だけでなく、多くの人が九度山を訪れてくれることにより、新たな人のつながりが生まれる、また途絶えていた人の

つながりが復活するなど、お金では評価できない効果もあると思います。

そのような効果により、本町の経済力が高まり、活性化が進み、そして町民のみなさんが暮らしやすい、安全、快適な町づくりにつながることを期待できます。その意味で、私は花火大会のすべてを否定するものではありません。

花火大会に対する町民の声

さて、この花火大会の予算については、町民の間でも賛否の意見が分かれていることや様々な評価があることを、町長をはじめとした町執行部のみなさんにご存知だと思えます。私は町内を回り、町民の声を聞き、意見を求めてきました。手紙で意見を寄せていただいた方もいます。賛成の意見もありましたが、反対や疑問視する意見も数多くありました。疑問視する意見は、花火大会を全否定はしないが、他の事業にお金を振り分けるなど予算の使い道の再考を求めるものが多数を占めました。

反対もしくは疑問視する声の多くは、年金生活者、特に国民年金を受給しているみなさんからのものです。年金生活者のみなさんは、安倍自民党政権が推し進める社会保障費抑制の政治の下、後期高齢者医療保険料や介護保険料の値上げに悲鳴を上げています。本町でも今年度より介護保険料が値上げとなりました。私は介護保険料について、低所得者対策として一般会計予算で、町独自の保険料減免制度を社会福祉政策として行うことを、議案審議の場や一般質問で求めてきました。

花火大会予算の一部で介護保険料の町独自減免制度実現を

さて、この一般会計補正予算案の質疑において、「花火大会の規模を縮小して、その浮いた予算を別の事業に使ってはどうか」との発言がありました。私もこの考え方に立つものです。私は社会福祉政策のひとつとして、介護保険料の町独自の減免制度を設けることを求めます。介護保険料の町独自の減免制度は、その減免の対象の範囲にもよりますが、花火大会の予算の一部をその財源として振り替えることで実施可能ではないかと考えます。

町民の声を代弁し反対

町民負担増となる介護保険の値上げを行った年度に花火大会を従来規模で実施することには、町民、

特に低所得の年金生活者からの疑問の声があります。私は、この町民の声を代弁して一般会計補正予算案に反対するものです。

花火大会の財源確保に努力を

なお、繰り返しになりますが、私は花火大会の中止を求めるものではありません。花火大会の予算計上にあたっては、議会からの意見を踏まえ、歳入でクラウドファンディングを活用し200万円の寄付をあつめることが盛り込まれていることは評価します。

その上で、財源確保という点から要望します。花火大会を行っている自治体の多くは、程度の差はあれ財源の問題に頭を悩ませています。その解決策として、花火鑑賞のための座席を有料で販売し、それを財源に充てている自治体があります。本町においても、寄付以外に収入を確保する方策の実施により、その収入を活用して花火大会補助金の一部を他の事業に振り替えることの検討を求めます。

「将星真田幸村花火大会」の事業規模を見直し、その予算の一部を社会福祉政策のより一層の充実のために活用することを求める立場から、平成30年度九度山町一般会計補正予算(第1号)への反対討論とします。

※見出し(太字)は、読みやすくするために付け加えたものです。これは討論用の原稿で、議事録に記載されたものが正式な発言となります。

